

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成27年10月27日
【四半期会計期間】	第46期第2四半期（自 平成27年6月21日 至 平成27年9月20日）
【会社名】	株式会社ハチバン
【英訳名】	HACHI-BAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 後藤 克治
【本店の所在の場所】	石川県金沢市新神田一丁目12番18号
【電話番号】	076-292-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 酒井 守一
【最寄りの連絡場所】	石川県金沢市新神田一丁目12番18号
【電話番号】	076-292-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 酒井 守一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第2四半期連結 累計期間	第46期 第2四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成26年 3月21日 至平成26年 9月20日	自平成27年 3月21日 至平成27年 9月20日	自平成26年 3月21日 至平成27年 3月20日
売上高 (千円)	3,282,870	3,659,796	6,440,752
経常利益 (千円)	349,165	497,384	413,754
四半期(当期)純利益 (千円)	198,392	299,216	207,121
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	324,025	428,195	520,747
純資産額 (千円)	3,849,691	4,179,673	3,783,381
総資産額 (千円)	5,440,743	6,001,087	5,692,750
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	12.38	19.19	13.00
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	70.31	69.05	65.89
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	219,871	284,079	438,690
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	181,754	120,309	276,831
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	97,548	38,652	333,564
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	379,044	394,172	271,210

回次	第45期 第2四半期連結 会計期間	第46期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 6月21日 至平成26年 9月20日	自平成27年 6月21日 至平成27年 9月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.33	7.93

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、当社の完全子会社である株式会社ハチパントレーディングジャパンを吸収合併することを決議し、平成27年7月30日に合併契約書を締結しました。詳細は「第4 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりであります。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により、国内景気は回復基調を持って推移しておりますが、消費税率引き上げ後の個人消費動向に弱さがみられ、依然として先行きに不透明感が残る状況となっております。

外食産業におきましても、消費者の節約志向は依然として強く、また、円安による原材料価格の上昇や、人手不足を背景とした人件費関連コストの負担増、異業種との競争が続くなど、引き続き厳しい状況が続いております。

一方、当社グループの国内における事業基盤がある北陸地方では、北陸新幹線開業による経済効果は高く、主要駅周辺を中心として活況を呈しております。

このような状況のもと当社グループは、「食の安全・安心」の向上はもとより、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの向上に努め、お客様の信頼を最優先に、事業活動を展開してまいりました。

当社グループの店舗展開の状況につきましては、加盟店3店舗（福井県1店舗、タイ国2店舗）を新規出店しましたが、直営店1店舗（岐阜県）、加盟店2店舗（タイ国）の閉店があり、店舗数は261店舗（前連結会計年度末比同数）となっております。その内訳は、国内店舗ではらーめん店舗132店舗、和食店舗12店舗（合計144店舗）、海外店舗は117店舗であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度に開店した店舗業績が寄与したことなどにより36億59百万円（前年同期比11.5%増）、営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、39億63百万円（前年同期比11.1%増）となりました。営業利益は3億89百万円（前年同期比64.8%増）、経常利益は4億97百万円（前年同期比42.4%増）、四半期純利益は2億99百万円（前年同期比50.8%増）と大幅な増収増益となりました。

セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

#### 外食事業

##### （らーめん部門）

8番らーめんフランチャイズチェーンの国内展開を主とするらーめん部門では、店舗の改装・移転による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。

前連結会計年度に引き続き、主力商品である「野菜らーめん」の品質向上に重点を置き、調理技術の向上のための店舗巡回指導に注力するとともに、調理資格であるフライパンマイスター、接客サービス資格であるサービスマイスターや接客リーダー等の社内資格の取得を推奨し、そのための講習会もチェーン全体で展開しました。

8番らーめんフランチャイズチェーン既存店売上高は、これらの諸施策や北陸新幹線開業に合わせた積極的なPRプロモーションを行ったことなどにより、前年同期比4.2%増となりました。

店舗展開の状況につきましては、福井県で加盟店を1店舗新規出店しましたが、賃貸借契約の終了により直営店（岐阜県）を1店舗閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は132店舗（うち加盟店115店舗、直営店17店舗、前連結会計年度末比同数）となりました。

##### （和食部門）

和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。

「地酒と手造り料理 八兆屋」では、季節毎の食材を使った健康志向メニュー「季節のそば膳」を継続して販売しており、ランチタイムの主力メニューとなっております。

既存店売上高は、これらの営業諸施策や、北陸新幹線開業による観光客や地元顧客の増加などにより、前年同期比14.2%増となりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗（前連結会計年度末比同数）であります。

以上の結果、外食産業の当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は33億2百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益は5億43百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

#### 外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、より付加価値のある商品の開発と提案に努め、生麺ブランド「八番麵工房」や冷凍生餃子を、地元スーパーマーケット様を始めとして、国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に販売の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、より厳しさを増す生麺市場の販売競争の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億75百万円（前年同期比1.6%減）、経常利益は23百万円（前年同期比110.4%増）となりました。

#### 海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンの海外展開ならびに主としてラーメンスープ・エキス等の食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、タイ国で2店舗の出店と2店舗の閉店があり117店舗（うちタイ国110店舗、香港7店舗、前連結会計年度末比同数）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ国での店舗売上好調に加え、スープ・エキス売上の増加により、2億85百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益は1億6百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加して60億1百万円（前連結会計年度比5.4%増）となりました。これは主に現金及び預金が1億22百万円増加したことや、売掛金が1億45百万円増加したこと、投資有価証券が67百万円増加したことによるものであります。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少して18億21百万円（前連結会計年度比4.6%減）となりました。これは主に未払法人税等が1億円増加したものの、流動負債のその他が2億9百万円減少したことによるものであります。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加して41億79百万円（前連結会計年度比10.5%増）となりました。これは主に、利益剰余金が2億68百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が1億26百万円増加したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、有形固定資産の取得による支出2億20百万円や売上債権の増加1億45百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益が4億97百万円あったことにより、前連結会計年度末に比べ、1億20百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金は3億94百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、2億84百万円（前年同期比29.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が4億97百万円（前年同期比42.5%増）あったものの、売上債権の増加1億45百万円（前年同期比10.8%減）や法人税等の支払い183百万円（前年同期比14.9%減）があったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用した資金は、1億20百万円（前年同期比33.8%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億20百万円（前年同期比1.4%増）があったものの、投資有価証券の償還による収入1億円（前年同期比1億円増）があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって使用した資金は、38百万円（前年同期比60.4%減）となりました。これは主に、配当金の支払い131百万円（前年同期比2.5%減）があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年9月20日)	提出日現在発行数(株) (平成27年10月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,040,558	16,040,558	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	16,040,558	16,040,558	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年6月21日 ～平成27年9月20日	-	16,040,558	-	1,518,454	-	379,685

(6)【大株主の状況】

平成27年9月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社リンガーハット	長崎県長崎市鍛冶屋町 6 - 50	1,526	9.51
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	東京都中央区晴海 1 - 8 - 11	756	4.71
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り 1 - 2 - 26	733	4.57
麒麟麦酒株式会社	東京都中野区中野 4 - 10 - 2	591	3.69
ハチパン取引先持株会	石川県金沢市新神田 1 - 12 - 18	554	3.46
株式会社ジーエスシー	石川県金沢市高尾南 2 - 130	509	3.18
日清製粉株式会社	東京都千代田区神田錦町 1 - 25	375	2.34
株式会社新生銀行	東京都中央区日本橋室町 2 - 4 - 3	298	1.86
後藤 四郎	石川県金沢市	263	1.64
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	258	1.61
計	-	5,866	36.57

(注) 1. 当社は自己株式456千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)の所有株式のうち信託業務に係る株式数は756千株であります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 456,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,442,000	15,442	-
単元未満株式	普通株式 142,558	-	-
発行済株式総数	16,040,558	-	-
総株主の議決権	-	15,442	-

【自己株式等】

平成27年9月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ハチパン	石川県金沢市新神田 1-12-18	456,000	-	456,000	2.84

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。なお、当四半期累計期間後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、以下のとおりであります。

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役執行役員 生産販売本部長 兼)生産企画室長 兼)フーズパーク長	取締役執行役員 生産販売本部長 兼)商品部長 兼)生産企画室長 兼)フーズパーク長	横 山 洋 一	平成27年9月21日
取締役会長	代表取締役会長	後 藤 四 郎	平成27年10月23日



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年6月21日から平成27年9月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年3月21日から平成27年9月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	273,610	396,572
売掛金	420,929	566,193
商品及び製品	89,710	86,147
原材料及び貯蔵品	24,474	25,392
繰延税金資産	59,351	64,377
その他	178,214	146,864
流動資産合計	1,046,290	1,285,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,426	835,622
機械装置及び運搬具(純額)	344,275	329,743
工具、器具及び備品(純額)	192,912	191,259
土地	1,073,094	1,073,094
有形固定資産合計	2,475,708	2,429,720
無形固定資産	42,808	37,579
投資その他の資産		
投資有価証券	1,450,983	1,518,682
長期貸付金	57,570	120,734
関係会社出資金	64,001	64,001
差入保証金	323,529	320,761
保険積立金	223,079	217,370
その他	29,243	29,488
貸倒引当金	20,465	22,798
投資その他の資産合計	2,127,942	2,248,239
固定資産合計	4,646,460	4,715,539
資産合計	5,692,750	6,001,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	291,403	315,638
短期借入金	171,702	199,996
未払法人税等	66,618	167,187
賞与引当金	88,521	90,015
未払費用	331,263	277,234
その他	310,351	101,140
流動負債合計	1,259,860	1,151,212
固定負債		
長期借入金	177,343	142,345
長期未払金	213,751	213,751
繰延税金負債	85,144	142,614
長期預り保証金	173,271	171,491
固定負債合計	649,509	670,202
負債合計	1,909,369	1,821,414
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,411,848	1,411,848
利益剰余金	802,218	1,070,264
自己株式	237,687	238,420
株主資本合計	3,494,834	3,762,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,090	376,382
為替換算調整勘定	6,206	5,043
その他の包括利益累計額合計	256,297	381,426
少数株主持分	32,249	36,099
純資産合計	3,783,381	4,179,673
負債純資産合計	5,692,750	6,001,087

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
売上高	3,282,870	3,659,796
売上原価	1,678,472	1,830,510
売上総利益	1,604,397	1,829,286
営業収入	284,344	303,969
営業総利益	1,888,742	2,133,255
販売費及び一般管理費		
運賃	139,831	141,119
役員報酬	51,439	50,974
給料及び手当	618,206	660,033
賞与引当金繰入額	82,457	76,590
退職給付費用	9,093	8,865
地代家賃	120,284	140,109
水道光熱費	90,165	89,928
減価償却費	37,963	50,474
その他	502,778	525,268
販売費及び一般管理費合計	1,652,220	1,743,364
営業利益	236,522	389,891
営業外収益		
受取利息	4,533	3,389
受取配当金	87,981	103,443
受取地代家賃	25,696	21,580
持分法による投資利益	-	1,451
その他	22,002	7,420
営業外収益合計	140,214	137,285
営業外費用		
支払利息	1,274	1,485
賃貸費用	24,671	21,153
為替差損	-	6,022
持分法による投資損失	747	-
その他	877	1,131
営業外費用合計	27,571	29,792
経常利益	349,165	497,384
特別損失		
固定資産除却損	121	103
特別損失合計	121	103
税金等調整前四半期純利益	349,044	497,281
法人税、住民税及び事業税	143,000	182,000
法人税等調整額	4,096	11,761
法人税等合計	147,096	193,761
少数株主損益調整前四半期純利益	201,947	303,519
少数株主利益	3,554	4,303
四半期純利益	198,392	299,216

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,947	303,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,326	126,291
為替換算調整勘定	1,100	889
持分法適用会社に対する持分相当額	1,147	726
その他の包括利益合計	122,078	124,675
四半期包括利益	324,025	428,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,032	424,345
少数株主に係る四半期包括利益	2,993	3,849

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	349,044	497,281
減価償却費	65,837	81,149
為替差損益(は益)	3,762	4,267
持分法による投資損益(は益)	747	1,451
賞与引当金の増減額(は減少)	6,003	1,493
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15,000	15,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,662	2,333
受取利息及び受取配当金	92,515	106,832
支払利息	1,274	1,485
有形固定資産除却損	45	103
売上債権の増減額(は増加)	163,681	145,933
たな卸資産の増減額(は増加)	348	2,248
仕入債務の増減額(は減少)	38,707	24,684
未払費用の増減額(は減少)	15,287	53,974
その他	25,498	33,733
小計	223,478	258,121
利息及び配当金の受取額	95,754	110,888
利息の支払額	1,308	1,490
法人税等の支払額	98,052	83,439
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>219,871</b>	<b>284,079</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	217,291	220,302
無形固定資産の取得による支出	5,410	2,240
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
差入保証金の差入による支出	21,578	1,028
差入保証金の回収による収入	58,665	3,081
貸付けによる支出	-	2,896
貸付金の回収による収入	3,860	3,076
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>181,754</b>	<b>120,309</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	40,000
長期借入金の返済による支出	64,994	46,704
自己株式の取得による支出	540	732
配当金の支払額	32,013	31,215
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>97,548</b>	<b>38,652</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,525	4,555
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	55,905	120,562
現金及び現金同等物の期首残高	425,489	273,610
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9,460	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	379,044	394,172

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

債務保証

持分法非適用関連会社香港八番有限公司の金融機関からの借入に対して、当社が債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
保証金額	26,645千円	保証金額 21,178千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
現金及び預金勘定	381,444千円	396,572千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	2,400	2,400
現金及び現金同等物	379,044	394,172

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月18日 定時株主総会	普通株式	32,033	2.00	平成26年3月20日	平成26年6月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月23日 取締役会	普通株式	32,031	2.00	平成26年9月20日	平成26年12月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月18日 定時株主総会	普通株式	31,170	2.00	平成27年3月20日	平成27年6月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年10月23日 取締役会	普通株式	31,167	2.00	平成27年9月20日	平成27年12月1日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注)1						
外部顧客への営業収益	2,942,176	381,057	243,981	3,567,214	-	3,567,214
セグメント間の内部営業収益又は振替高	232,821	5,383	31,310	269,515	269,515	-
計	3,174,997	386,440	275,291	3,836,729	269,515	3,567,214
セグメント利益	420,357	10,983	88,780	520,120	170,954	349,165

(注)1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額 170,954千円には、各セグメント間取引消去905千円、各セグメントに配分していない全社費用 171,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注)1						
外部顧客への営業収益	3,302,856	375,121	285,788	3,963,766	-	3,963,766
セグメント間の内部営業収益又は振替高	232,474	4,822	33,868	271,165	271,165	-
計	3,535,331	379,943	319,657	4,234,931	271,165	3,963,766
セグメント利益	543,124	23,111	106,999	673,236	175,851	497,384

(注)1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額 175,851千円には、各セグメント間取引消去902千円、各セグメントに配分していない全社費用 176,754千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
1株当たり四半期純利益金額	12円38銭	19円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	198,392	299,216
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	198,392	299,216
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,016	15,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業

名称 株式会社ハチパン(当社)  
事業の内容 食品製造及び販売、飲食店の経営、  
飲食店フランチャイズ・チェーン事業

被結合企業

名称 株式会社ハチパントレーディングジャパン(当社の100%子会社)  
事業の内容 食料品及び調味料の輸出入及び販売

(2) 企業結合日

平成27年9月21日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社ハチパントレーディングジャパンを吸収合併消滅会社とする吸収合併。

(4) 結合後企業の名称

株式会社ハチパン

(5) その他取引の概要に関する事項

一体的かつ効果的な事業展開を図ることで、企業価値の一層の向上を目的として、当社を吸収合併存続会社、株式会社ハチパントレーディングジャパンを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行なうことといたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

2【その他】

平成27年10月23日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....31,167,696円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成27年12月1日

(注) 平成27年9月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主または登録株式質権者に対し支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年10月27日

株式会社ハチバン

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 立石 康人 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石田 勝也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハチバンの平成27年3月21日から平成28年3月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年6月21日から平成27年9月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年3月21日から平成27年9月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハチバン及び連結子会社の平成27年9月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。